

めぐみの糧

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」(マタイ4章4節)

(今号も前号に引き続き、
”人生の展覧会”第二画を御紹介致します)

人生の展覧会

人生の展覧会というものが、ある時ある場所で開かれた。どんなものが並べてあるか、人々は好奇心を持って見に出かけた。

第1会場

入ってみると真つ暗だ、どうしたことかとたずねると、この世の解説者が言うことに、

”人生は真つ暗さ、明日も分からぬ暗闇よ、望みの光などこの世には、いくら探してもありつこない。”

第2会場



入ってみると驚いた、あるはあるは靴ずらり、この世の解説者が言うことに、

”人生は靴(苦痛)ばかり、大きな靴(苦痛)に、小さな靴(苦痛)のこの世の旅路を終えるまで、靴(苦痛)だけが、履き物さ。”

そこへ来た天国の解説者の言うことに、”嘆くには及びません、このほかに第3会場があるのです。そこは、望みと喜びの部屋さ。さあご案内致しますよ。”

第3会場

英国王とろうそく

イギリス王朝の初期の頃、政権を握っていたある王が、一部の者にずいぶん嫌われていました。そのうちに反対者たちは反旗をひるがえし破竹の勢いで進撃して来ました。

王様はよく訓練された信頼できる近衛兵を追って反乱軍を迎え撃たせました。実戦の経験と伝統の団結力によって近衛軍は間もなく反乱軍を一掃し、ある者を殺し、ある者をいけどりにしましたが、大部分の者は山林地帯に逃げ込みました。ところが王様は憐み深い人でありましたので、自分の命を狙った者らをゆるそうと考え、一計を策しました。すなわち、城の窓に大きなろうそくをともし、このろうそくが燃えている間に投降した者は皆ゆるすというおふれを出したのです。

約束通りにろうそくが燃えている間に投降した者は皆ゆるされました。しかし心を頑なに王様の最後の勧告を受け入れず、ろうそくの火が消えるまで、山林地帯の中にいた者は、皆発見されて殺されてしまいました。

天国の解説者のことば

聖書に「すべての人は罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず…」と書いてあります。私たちは皆、王の王であられるキリストにそむいて、身勝手な道を歩いて来ました。神を離れた結果は、永遠の滅びです。しかし、唯一の神のひとり子であられるイエス・キリストは私たちの罪を皆帳消しにするため、みずから私たちの罪の裁きを十字架の上で受けて下さいました。イエス・キリストは死んで、三日目に甦(よみが)えり、今あなたの為に、主(しゅ)として、恵みのろうそくをともし、罪という暗黒の森の中にいるあなたを招いておられます。さあ、早く森を出てイエス様のみに参りましょう。そうすればあなたの罪は、ことごとくゆるされ、それだけでなくあなたは神の子とせられ、やがてイエス様のおられる天国に行くことができるのです。

しかし、恵みのろうそくの火も、もうすぐ大きくゆらいで消えてしまいます。そうしたらあとに残るものは神様の裁きだけです。あなたの明日の命は、誰も保証することができません。あなたの心臓が動いている今、恵みのろうそくがまだ輝いている今、救い主イエス・キリストのみに参りましょう。そうすればあなたも、貴い救いにあずかり、やがてあなたの作品もこの第3会場に飾られるようになるでしょう。では、さようなら、ごきげんよう。天国でまたあなたにお会い致しますよう。

目次

1面

「人生の展覧会」
～第2画～
”英国王とろうそく”

2面

「30年前に突然姿を消した
わが娘を追い続けて」
横田早紀江さん

お読み下さりありがとうございます
お読みいただいたあなたも、イエス・キリストの元に来られ、キリストの血潮による罪のゆるしをいただきませんか？そして、キリストを中心とした、平安に満ちた生活を送られますよう、心よりお勧めいたします。
めぐみバプテスト教会は、どなたでもおいでいただける教会です。聖書を知りたい方、お読みになりたい方、ご相談、御質問のおありの方、どうぞ、御連絡、御来会下さい。尚、教会は一切、費用はかかりませんので、ご安心ください。心より、お待ちしております(牧師、湯浅修)

めぐみバプテスト教会

東京都多摩市永山6-2-5永井ビル2F



Tel&Fax: 042-374-2311

木曜日 夜 7:00～8:30 祈り会
日曜日 朝 9:30～10:25 日曜学校
朝10:45～12:15 礼拝

牧師: 湯浅 修(ゆあさおさむ)

メール: qrdgp763@ybb.ne.jp

(2面もどうぞごらんください)

「30年前に突然姿を消したわが娘を追い続けて」～横田早紀江さん

皆様も、拉致被害者横田めぐみさんの母親、横田早紀江さんをよくご存じのことと思います。今から30年前に突然、北朝鮮に拉致された御長女めぐみさんとの再会、待ち続けておられるお母様です。私は、横田さんの著書「ブルーリボンの祈り」「めぐみ、お母さんがきっと助けてあげる」を読みつつ、もし自分自身が横田さんの立場であったらと思うだけで、胸が張り裂けそうな思いに駆られます。しかし、横田早紀江さんが、この非人道的な悲劇を通して、イエス・キリストを信じるクリスチャンになられたことをご存じの方は、少ないのではないのでしょうか。今号は、横田さんのイエス・キリストとの出会いをご紹介します。（「 」部分は横田早紀江さんのお言葉です）

①「事件」

- ・1977年11月15日夕方、めぐみさん失踪。
- ・当時、中学一年生(13歳)
- ・新潟市のバドミントン強化選手。部活の帰り道、自宅まであと、4、5分。暗い曲がり角で忽然と姿を消した。
- ・警察犬二頭が後を追う。新潟県警始まって以来といわれた。大規模な捜索が開始(ヘリコプター、巡視船)

②「気の狂いそうな日々」

- ・全国にポスターを貼る。
- ・街を歩けば、めぐみさんと同じ年の娘さんに目がいく。少しでもにている姿があれば、新聞、雑誌に掲載されると問い合わせ。
- ・警察が公開する全国行方不明者の遺体写真を見に出かける。
- ・目撃者もなく、何の手がかりもなく、1ヶ月、3ヶ月、半年、一年が経過。

③「キリストに出会う」

- ・クリスチャンの友人が、ヨハネ9:1-3を示し、励ます。
- ・同学年の子供のお母さんが訪問。
「マクダニエル宣教師宅で、”聖書を読む会”をしていますので、一度おいでください。」
聖書をおいていかれ、ヨブ記から読み始めるようにすすめる。
1:21「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」
11:7, 8「あなたは神の深さを見抜くことができますか。
全能者の極限を見つけることができますか。
それは天よりも高い。あなたに何ができよう。
それはよみよりも深い。あなたが何を知りえよう。」
- ・それから、むさぼるように、詩篇、ローマ、コリント、イザヤを読み進む

「神様、私はあなたを知ろうともしない罪深い、生まれながらのわがままなものでしかありませんでした。人知の及ばないところにある神の御存在は、この世の悲しみ、苦しみ、すべてのことを飲み込んでおられること。私の悲しい人生も、めぐみの悲しい人生も、この小さな者には介入できない問題であることを知ります。」

横田さんは、こうしてイエス・キリストを信じるに至りました。

- ・1985年5月、新潟の五十嵐キリスト教会(同盟)でバプテスマ(受洗)。
詩篇119:71「苦しみ会ったことは、私にとってしあわせでした。」

私はそれであなたのおきてを学びました。」

- 119:72「あなたの御口のおしえは、私にとって幾千の金銀にまさるものです」

- ・横田さんの祈り(20年以上にわたる祈り)

「神様、もし娘が生きているとしたら、今あるその所で娘のいのちとたまいと健康とを、あらゆる危害からお守りください。」

④「その後の消息」

- 1997年。それは、北朝鮮に拉致されたという新事実。
「神様は、私の祈りにお答えくださった。20年もの間、娘を守ってくださり、母親である私を、20年の試みの中で、主の光の中へ導いてくださった。なんという奇しい20年であります。」
「全世界を掌握されておられる主のみわざと護衛校が、どのように現されていくか、時には、崩れおれそうにもなりながら、すべてを主におゆだねし、しっかりと主につながって歩んでいきますように祈る毎日です。」

横田さんが握りしめておられるみことば。

- 詩篇131:1 主よ。私の心は誇らず、私の目は高ぶりません。

及びもつかない大きなことや、奇しいことに、私は深入りしません。

- 131:2 まことに私は、自分のたまいを和らげ、静めました。

- 詩篇62:1 私のたまいは黙って、ただ神を待ち望む。私の救いは神から来る。

- 62:8 民よ。どんなときにも、神に信頼せよ。あなたがたの心を神の御前に注ぎ出せ。神は、われらの避け所である。



「私は、いつの日かめぐみが帰ってきた時に、母は、こういう中であって、このようにすばらしい神さまの御手によって守られてきたということ、多くの方々に祈られていたことを伝えたいと、この記録を残すことにしました」

「この事件がなければ、キリストに出会うこともなかったでしょう、クリスチャンになることもなかったでしょう。私はこうして長い年月、神さまに愛されて訓練していただいて今日があることを、心から感謝しています。」

(横田早紀江)

「ブルーリボンの祈り」(定価1260円)は、キリスト教書店で販売されています。お入り用の方は、教会まで御連絡くだされば、御用意させていただきます。

